

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)				区分・【新主題】/(分野)						
		基礎ゼミ(理学療法コース)(Introduction to academic literacy)										
		*大分を創る科目										
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員						
必修	2	1年	福祉健康科学部	前期		氏名 徳丸治(代表), 河上敬介, 朝井政治, 片岡昌志, 見玉雅明, 紀 瑞成, 阿南雅也, 菅田陽恰, 萬井太規, 川上健二, 田中健一朗, 安藤敬子 E-mail ostokuma 内線 7972						
授業の概要 本講義では、特定のテーマに関して調査し、グループ内で討論することで皆の考えをまとめ、それを分かりやすいメディアを介して発表する。また、発表においては意見交換を行うとともに、何がどこまで分かっており、どこからわかっていないかを明らかにする。この一連の過程を体験しながら大学における学習法を学ぶ。												
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)						
目標1	図書館や大学設備を利用して情報を収集し、その情報を分析・活用できる。					1	2					
目標2	取り組むべき課題を解決するための適切な手段を選択し、仲間と協調・協働して課題解決に取り組むことができる。					3	4					
目標3	自分の考えを相手に分かり易く説明・提案するとともに、広い視野を持って建設的な議論ができる。					5	6					
目標4						7	8					
目標5						9	10					
目標6												
目標7												
目標8												
目標9												
目標10												
授業の内容												
1 授業ガイダンス: 受動的授業と能動的授業、班分け(河上)												
2 情報収集方法と情報管理(朝井)												
3 図書館の活用方法。(田中, 川上, 安藤)												
4 授業の受け方・プレゼンテーションの仕方(片岡)												
5 論文の読み方とレポートの書き方(徳丸)												
6 健康管理の科学(見玉)												
7 トピックス1: 基礎医学の世界(紀)												
8 トピックス2: 運動器リハビリテーションへの招待(阿南)												
9 トピックス3: 神経リハビリテーションの最前線(菅田, 萬井)												
10 グループ討議1: テーマの決定												
11 グループ討議2: テーマに沿った情報収集と整理												
12 グループ討議3: 行用発表の作成												
13 発表会予行(全教員)												
14 グループ討議4: 最終発表準備												
15 学習成果発表会(全教員)												
ラ イ ク ニ テ ン シ ン グ	A: 知識の定着・確認 B: 意見の表現・交換 C: 応用志向 D: 知識の活用・創造		○ ○ ○ ○		情報収集、問題点の抽出、解決方法の選択、発表、議論を受講者全員又は小グループで実施する。		エ 夫 の 他 の					
時間外学修の内容と時間の目安	準備 大学や学部のHPを用いて、次回の講義を担当する教員がこれからどのような専門科目の講義や実習を担当するのか、その科目でどのようなことを学ぶことになるのか、予め調べておくこと(30h)。 事後 本学研究者総覧や医中誌、PubMedなどによって、講義を担当した教員の専門分野における研究活動について調べ、講義の内容との関連を確認すること(30h)。											
教科書	指定しない。											
参考書	佐藤 望他『アカデミック・スキルズ(第2版)-大学生のための知的技法入門』(慶應義塾大学出版会, 2012) 市古 みどり他『資料検索入門 - レポート・論文を書くために』(慶應義塾大学出版会, 2014) 西山 敏雄他『データ収集・分析入門-社会を効果的に読み解く技法』(慶應義塾大学出版会, 2013)											
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	グループ学習への積極的参加	50%	○	○	○							
	発表内容	50%	○	○	○							
注意事項	受講教室が図書館、情報基盤センターの場合がある。1回目の授業時に指示する。											
備考	なし											
リンク												
	URL											

担当教員の 実務経験の 有無	○
教員の実務 経験	理学療法士, 医師

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)					
		基礎ゼミ(社会福祉実践コース) (Basic seminar)										
		*大分を創る科目										
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員						
必修	2	1年	福祉健康科学部	前期		氏名 社会福祉実践コース教員						
						E-mail 内線						
授業の概要 高校生活と比べ、大学生活はかなり変化する。新入生が新しく始まる大学生活や、大学での自由度の高い学習方法に無理なく適応できるよう、学習に必要な基礎的な情報を獲得することが本授業の目的である。具体的には、履修方法、取得できる資格、レポートの書き方等について学習する。また、これから4年間を通して学んでいく、社会福祉とは何か、を体系的に理解してほしい。												
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)						
目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9				
目標10												
授業の内容 1 履修の手引き 2 学生生活全般の指導 3 卒業までの見取り図 4 社会福祉士と履修カリキュラムについて 5 精神保健福祉士と履修カリキュラムについて 6 実習とボランティアについて 7 就職・進路について 8 健康管理について 9 社会福祉とソーシャルワークについて 10 社会福祉制度について 11 文献の探し方とレポートの書き方Ⅰ 12 文献の探し方とレポートの書き方Ⅱ 13 グループディスカッションⅠ 14 グループディスカッションⅡ 15 グループディスカッションⅢ												
ラーニング	A:知識の定着・確認	グループディスカッションとプレゼンテーション				工夫	その他の	なし。				
評価方法	B:意見の表現・交換											
時間外学習	C:応用志向											
内容の目安	D:知識の活用・創造											
準備	新聞やニュース番組等を通じて、政治・経済・社会情勢・制度・政策の動向と福祉の諸問題との関係について、日頃から注意を払っておくこと(5h)。											
事後	具体的な課題は、各担当教員が授業中に指示する(15h)。											
教科書	教科書は指定しない。適宜資料を配布する。											
参考書	川村匡由・川村岳人『改訂 福祉系学生のためのレポート&卒論の書き方』中央法規出版、2005年											
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	レポート	80%			○	○						
	授業中に指示された課題	20%	○	○			○					
注意事項	やむを得ず欠席する場合は、当日の担当教員に連絡すること。											
備考	なし。											
リンク	URL											

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)				区分・【新主題】/(分野)						
		基礎ゼミ(心理学コース)(Basic seminar)										
		*大分を創る科目										
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	履・限	担当教員						
必修	2	1年	福祉健康科学部	前期		氏名 河野 伸子/池永 恵美 E-mail n-kawano@oita-u.ac.jp/m-ikenaga@oita-u.ac.jp 内線 7612/6107						
授業の概要 新入生が、新しく始まる大学生活や、大学での自由度の高い学習方法に無理なく適応できるよう、物理的・精神的にサポートすることを目的とする。またそのために、同級生間の結びつきを深め、お互いの今後の協力的な関係作りに役立つよう、意識的なコミュニケーション力改善の機会やグループワークを積極的に取り入れる。												
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)						
目標1	大学での学習に必要な最低限の実用的知識を説明できる。					1	2					
目標2	意見交換を通じて、多様な考え方に気づき、他者の意見を尊重しつつ、自分の意見を相手に分かりやすく説明・提案できる。					3	4					
目標3	グループワークを通して、協調・協働して計画を作成し、問題解決を図ることができる。					5	6					
目標4						7	8					
目標5						9	10					
目標6												
目標7												
目標8												
目標9												
目標10												
授業の内容												
1 大学生活について												
2 エンカウンターワーク1(心理劇1)												
3 エンカウンターワーク2(心理劇2)												
4 エンカウンターワーク3(心理劇3)												
5 大学構内の施設利用方法(保健管理センター、びあROOMなど)												
6 大学図書館の利用方法												
7 アーリーエクスポージャーの振り返り												
8 健康管理												
9 エンカウンターワーク4(価値観を知る)												
10 エンカウンターワーク5(コミュニケーション)												
11 エンカウンターワーク6(リーダーシップ)												
12 発想法のワーク1(KJ法1:練習)												
13 発想法のワーク2(KJ法2:主題決定とアイデア集め)												
14 発想法のワーク3(KJ法3:アイデアのグルーピング化と構造化)												
15 発想法のワーク4(KJ法4:作図と発表会)												
ラフスケッチ	A:知識の定着・確認	グループワークを取り入れ、体系的理解を深める。					工夫 その他					
グループ	B:意見の表現・交換	KJ法による作図をし、学習成果物を作成する。										
	C:応用志向											
	D:知識の活用・創造											
時間外学習の内容と時間の目安	準備	次のテーマとなる事柄について、インターネット等を通じて調べ学習をしておく(10h)										
	事後	KJ法の課題(10h)										
教科書	適宜、資料を配布する。											
参考書	適宜、資料を配布する。											
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	授業(特にグループワーク)への参加状況	60%	○	○	○							
	毎回のレポート	40%	○	○	○							
注意事項	出席が全講義回数の3分の2未満であれば単位を認めない。											
備考	グループで作成したKJ法の図は、オープンキャンパスの時に、資料として展示する。											
リンク	URL											

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)																																																																																																																										
		医療倫理(Medical Ethics)																																																																																																																															
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	環・医	担当教員																																																																																																																											
選択(理学療法コースは必修)	2	1年	福	前期		氏名・平野 互(非常勤講師)																																																																																																																											
						E-mail	内線																																																																																																																										
授業概要 人々に適切な医療・福祉サービスを提供して自立を支え、尊厳を守るためには、専門職としての倫理的な態度と判断力を身につける必要がある。そのために、まず医療倫理・生命倫理の基本原則と倫理的意思決定の基本を学ぶ。さらに、社会や臨床実践の場面において、対象者の権利を保護・促進し、倫理的な判断を的確に行うことができるよう、事例演習を通じて、医療・福祉における倫理的課題の分析と解決の方法を学ぶ。																																																																																																																																	
具体的な到達目標 DP等の対応(別表参照) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標1 Bioethics(生命倫理)と医療倫理に関する基本原則が説明できる。</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標2 リハビリテーション専門職者としての責任と倫理的態度について説明できる。</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標3 医療福祉における患者・利用者の権利を説明できる。</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標4 医療福祉領域で直面する種々の倫理的課題を発見できる。</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標5 倫理的課題の解決のための方法を応用できる。</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標6 研究倫理の基本的なルールを述べることができる。</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標7</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標8</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標9</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標10</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>										1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	目標1 Bioethics(生命倫理)と医療倫理に関する基本原則が説明できる。	○										目標2 リハビリテーション専門職者としての責任と倫理的態度について説明できる。	○										目標3 医療福祉における患者・利用者の権利を説明できる。	○										目標4 医療福祉領域で直面する種々の倫理的課題を発見できる。		○									目標5 倫理的課題の解決のための方法を応用できる。		○									目標6 研究倫理の基本的なルールを述べることができる。			○								目標7											目標8											目標9											目標10										
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10																																																																																																																							
目標1 Bioethics(生命倫理)と医療倫理に関する基本原則が説明できる。	○																																																																																																																																
目標2 リハビリテーション専門職者としての責任と倫理的態度について説明できる。	○																																																																																																																																
目標3 医療福祉における患者・利用者の権利を説明できる。	○																																																																																																																																
目標4 医療福祉領域で直面する種々の倫理的課題を発見できる。		○																																																																																																																															
目標5 倫理的課題の解決のための方法を応用できる。		○																																																																																																																															
目標6 研究倫理の基本的なルールを述べることができる。			○																																																																																																																														
目標7																																																																																																																																	
目標8																																																																																																																																	
目標9																																																																																																																																	
目標10																																																																																																																																	
授業の内容 1. 医療倫理の基本概念 1. Bioethics: 生命倫理の展開と課題 2. 1. 医療倫理の基本概念 2. 倫理原則と「臨床倫理」の方法 3. 1. 医療倫理の基本概念 3. 研究の倫理 4. II. 医療職の責任と義務 1. 医療職の「責任」と「ケアの倫理」 5. II. 医療職の責任と義務 2. 医療事故発生メカニズム 6. II. 医療職の責任と義務 3. 「安全配慮義務」と事故対応責任 7. III. 患者の権利 1. 患者の「権利」とは何か 8. III. 患者の権利 2. 自己決定権 パターナリズムとインフォームド・コンセント 9. III. 患者の権利 3. プライバシー権と個人情報保護法 10. IV. 出生と障がいに関わる倫理と人権 1. 生命の誕生、生殖補助医療にかかわる倫理 11. IV. 出生と障がいに関わる倫理と人権 2. 「出生前診断」とその倫理的課題 12. IV. 出生と障がいに関わる倫理と人権 3. 障がいのある人の尊厳と人権 13. V. End of life に関わる倫理と人権 1. 終末期医療と「尊厳死」 14. V. End of life に関わる倫理と人権 2. 自己決定と「安楽死」 15. VI. まとめ 倫理と人権																																																																																																																																	
ラーニング	A:知識の定着・確認 ○ 事例演習、小レポート B:意見の表現・交換 ○ C:応用志向 D:知識の活用・創造					工夫	その他の																																																																																																																										
時間外学習の内容と時間の目安	準備 社会で起きている人権や倫理に関する問題について、関心を持って調べる。(1h) 事後 小レポートでのポイント整理と復習 (10m)																																																																																																																																
教科書	教科書は指定しない。講義時に資料を配布し、必要に応じて参考資料を提示する。																																																																																																																																
参考書	例演習で用いる題材を主に引用する資料： 赤林昭・大林雅之編「ケースブック 医療倫理」(医学書院)2002																																																																																																																																
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10																																																																																																																					
	小レポート	30%	○	○	○	○	○	○																																																																																																																									
	最終レポート	70%	○		○	○	○	○																																																																																																																									
注意事項																																																																																																																																	
備考	なし																																																																																																																																
リンク	URL:																																																																																																																																

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)				区分・【新主題】/(分野)							
		英語 I (English I)											
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員							
必修	1	1	福	前期		氏名 Langley, Raymond (福健) E-mail langley@oita-u.ac.jp 内線 6117							
授業の概要 Students will improve their ability to read, comprehend, and discuss college-level and academic materials appropriate to their areas of specialization, and expand their vocabulary. Students will be expected to take charge of teaching elements of the content. To the extent possible, students will be encouraged and given the opportunity to how class time can best be used to achieve their own individual educational goals, and attain targets, independent of the purely linguistic. Please note that the unique character of online learning may require considerable modification of all course elements.													
具体的な到達目標 DP等の対応(別表参照)													
目標1	Learn content appropriate to students' chosen fields												
目標2	Improve college-level reading ability												
目標3													
目標4													
目標5													
目標6													
目標7													
目標8													
目標9													
目標10													
授業の内容													
1 Orientation													
2 Reading strategies and speed reading, student selection of textbook chapters													
3 Textbook work/Group readings and discussions/supplementary topics													
4 Textbook work/Group readings and discussions/supplementary topics													
5 Textbook work/Group readings and discussions/supplementary topics													
6 Textbook work/Group readings and discussions/supplementary topics													
7 Textbook work/Group readings and discussions/supplementary topics													
8 Textbook work/Group readings and discussions/supplementary topics													
9 Textbook work/Group readings and discussions/supplementary topics													
10 Textbook work/Group readings and discussions/supplementary topics													
11 Textbook work/Group readings and discussions/supplementary topics													
12 Textbook work/Group readings and discussions/supplementary topics													
13 Reading assessment													
14 Presentation													
15 Presentation													
ラーニング	A:知識の定着・確認 ☐ In addition to all the above, students will be given the option of project work in a non determinate actualization. B:意見の表現・交換 ☐ C:応用志向 ☐ D:知識の活用・創造 ☐				工夫その他の								
時間外学習の内容と時間の目安	準備学習 Students must practice reading, researching, and learning vocabulary in preparation for class, 1hour 事後学習 Students are expected to regularly review new concepts and terminology, 1hour												
教科書	Reading Explorer Foundations or Reading Explorer I (Depending on reading level and class section) Both 3rd ed. National Geographic												
参考書	なし												
成績評価の方法及び評価割合	評価方法		割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	Preparation, Homework, and Class Contribution/Participation		40%	○	○								
	mReader 1 book		10%	○	○								
	Reading Assessment		50%	○	○								
注意事項	なし												
備考	なし												
リンク	URL												

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)																							
		英語Ⅱ(EnglishⅡ)																												
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員																								
必修	1	1	福	後期		氏名 Langley, Raymond (福健) E-mail langley@oita-u.ac.jp 内線 6117																								
授業の概要 By reading articles, excerpts, and texts from a variety of fields and in a variety of styles, students will further develop their reading skills, and work towards the goal of being able to read in a variety of genres and styles. Students will also practice sharing the ideas they have read, and leading discussions based on readings. Students will be expected to take charge of teaching elements of the content. To the extent possible, students will be encouraged and given the opportunity to how class time can best be used to achieve their own individual educational goals, and attain targets, independent of the purely linguistic.																														
具体的な到達目標																			DP等の対応(別表参照)											
目標1 Train the ability to read comfortably in a variety of genres at the college level.																			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
目標2 Practice explaining reading content.																			○	○										
目標3																														
目標4																														
目標5																														
目標6																														
目標7																														
目標8																														
目標9																														
目標10																														
授業の内容																														
1 Orientation																														
2 Class reading and discussion of instructor-selected topic																														
3 Class reading and discussion of instructor-selected topic																														
4 Textbook work/Group readings and discussions of student selected topics																														
5 Textbook work/Group readings and discussions of student selected topics																														
6 Textbook work/Group readings and discussions of student selected topics																														
7 Textbook work/Group readings and discussions of student selected topics																														
8 Textbook work/Group readings and discussions of student selected topics																														
9 Textbook work/Group readings and discussions of student selected topics																														
10 Textbook work/Group readings and discussions of student selected topics																														
11 Textbook work/Group readings and discussions of student selected topics																														
12 Textbook work/Group readings and discussions of student selected topics																														
13 Reading Assessment																														
14 Group Presentations																														
15 Group Presentations																														
ラ イ ク エ ニ テ ィ ン グ ブ A:知識の定着・確認 B:意見の表現・交換 C:応用志向 D:知識の活用・創造 ☐ In addition to all the above, students will be given the option of opting to engage inproject work in a non determinate actualization. ☐ 工夫 の 他 の																														
時間外学習の準備 Students must prepare for discussions, presentations, and textbook work outside of class, 1hour																														
時間外学習の内容と時間の目安 事後学習 Students must regularly review concepts, patterns, and vocabulary, 1hour																														
教科書 Reading Explorer Foundations or Reading Explorer I (Depending on reading level) Both 3rd ed., National Geographic																														
参考書 なし																														
成績評価の方法及び評価割合																														
評価方法																			割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10	
Reader 1 book																			10%	○	○									
Homework, Preparation and Class Contribution																			40%	○	○									
Reading Assessment																			50%	○	○									
注意事項 なし																														
備考 なし																														
リンク																														
URL																														

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)										
AH162003		英語Ⅲ(EnglishⅢ)															
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
必修	1	2	福	前期		氏名 Langley, Raymond (福健) E-mail langley@oita-u.ac.jp 内線 6117											
授業の概要 By reading articles, excerpts, and texts from a variety of fields and in a variety of styles, students will further develop their reading skills, and work towards the goal of being able to read in a variety of genres and styles. Students will also practice sharing the ideas they have read, and leading discussions based on readings. Students will be expected to take charge of teaching elements of the content. To the extent possible, students will be encouraged and given the opportunity to how class time can best be used to achieve their own individual educational goals, and attain targets, independent of the purely linguistic.																	
具体的な到達目標																	
DP等の対応(別表参照)																	
目標1	Train the ability to read comfortably in a variety of genres at the college level.					○											
目標2	Practice explaining reading content.						○										
目標3																	
目標4																	
目標5																	
目標6																	
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
授業の内容																	
1 Orientation																	
2 Class reading and discussion of instructor-selected topic																	
3 Class reading and discussion of instructor-selected topic																	
4 Textbook work/Group readings and discussions of student selected topics																	
5 Textbook work/Group readings and discussions of student selected topics																	
6 Textbook work/Group readings and discussions of student selected topics																	
7 Textbook work/Group readings and discussions of student selected topics																	
8 Textbook work/Group readings and discussions of student selected topics																	
9 Textbook work/Group readings and discussions of student selected topics																	
10 Textbook work/Group readings and discussions of student selected topics																	
11 Textbook work/Group readings and discussions of student selected topics																	
12 Textbook work/Group readings and discussions of student selected topics																	
13 Reading Assessment																	
14 Group reading presentations																	
15 Group reading presentations																	
ラーニング グループ	A:知識の定着・確認					○	工夫 その他										
	B:意見の表現・交換					○											
	C:応用志向					○											
	D:知識の活用・創造					○											
時間外学習 の内容と時間 の目安	準備	Students will need to read, analyze and when necessary prepare materials for presentations. 1hour															
	事後	Review concepts, patterns and vocabulary, and reflect on points of revision and improvement. 1hour															
教科書	Reading Explorer I 3rd ed., National Geographic																
参考書	(なし)																
成績評価 の方法 及び 評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10					
	Preparation and Participation	30%	○	○													
	Student Selected Reading	20%	○	○													
	Reading Assessment	40%	○	○													
	Presentation	10%	○	○													
In addition above, students will be given the opportunity to opt for the choice of project work in a non determinate actualization.																	
注意事項	(なし)																
備考	(なし)																
リンク																	
	URL																

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)				区分・【新主題】/(分野)						
		英語IV(EnglishIV)										
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員						
必修	1	1	福	後期		氏名 Langley, Raymond (福健) E-mail langley@olta-u.ac.jp 内線 6117						
授業の概要 Professional communication requires that students be proficient in listening, pronunciation, and have an understanding of cultural background. Students will expand their communication abilities by engaging in a combination of activities to enhance integration of language and communication skills. These activities will include listening, speaking and performance activities, and study of the relationship between language and culture. Please note that the unique character of online learning may require considerable modification of all course elements.												
具体的な到達目標						DF等の対応(別表参照)	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10					
目標1	Improve listening and pronunciation skills						○					
目標2	Further develop fluency as speakers						○					
目標3	Deepen understanding of the cultural aspects of language					○						
目標4												
目標5												
目標6												
目標7												
目標8												
目標9												
目標10												
授業の内容												
1 Orientation												
2 Listening and Shadowing												
3 Chapter 1												
4 Chapter 2												
5 Chapter 3												
6 Chapter 4												
7 Chapter 5												
8 Chapter 6												
9 Chapter 7												
10 Chapter 8												
11 Chapter 9												
12 Chapter 10												
13 Chapter 11												
14 Chapter 12												
15 Review												
ラフ	A:知識の定着・確認	○	In addition to all the above, students will be given the				工 夫 の 他 の					
ニ	B:意見の表現・交換	○	opportunity to opt for project work in a unique and non									
ン	C:応用志向	○	determinate actualization in accordance with and with due									
グ	D:知識の活用・創造	○	consideration of individual needs.									
時間外学習の内容と時間の目安	準備	Students must memorize new vocabulary and prepare for each week's listening exercises. Students must also carry out independent listening activities, and prepare to discuss them in class										
	事後	Review vocabulary and concepts. Integrate the lesson's new vocabulary with learned vocabulary. Review story concepts and events.										
教科書	To be provided											
参考書	なし											
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	Preparation and Participation	40%	○	○	○							
	Quiz 1	30%	○	○	○							
	Quiz 2	30%	○	○	○							
注意事項	なし											
備考	なし											
リンク												
	URL											

